

恵みと真理のニュース



2014年9月の一次 恵みと真理教会

韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養5洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

【証】 旦那の魂を天国に導き、私と子供を主の広く深い愛で満たしてくださる神様の恵みに感謝を捧げます



イエス様を信じなく生きていたある日、私にはとても大変で周りの人々には言えない痛みがありました。様々な生活の問題があり、特に旦那の性格が火のようで強情でひねくれていて私の心はどんな希望もなくて日々を過ごしていました。そうするうちにある日、恵みと真理教会に通うおじさんが教会の伝道士と区域長を連れてきて私達の夫婦を伝道しました。その後からも熱心に福音を伝道され仕方なく教会に行きました。初め教会に行くと礼拝に参加してご飯を食べて帰って来るときに旦那が“牧師の説教が胸に響いて聴くうちに自分も知らずに涙がでたが、様々な行動を制約する事が多いから教会には通わない”と言いました。神様は旦那に恵みをたくさんくださったのかと思いましたが、次の日に旦那は普通のように怒ったり、二重的な性格を現せました。その日、私は説教に感動され礼拝時に神霊は慰めが望むことを体験してこれから熱心に教会に通うことを決心しました。しかし、私が教会に通えないように旦那は迫害をしました。ある日教会に行くのを許可して、ある日は許可を得て教会から帰って来るとどこかに行ってきたのか火のように怒りました。三食食べる事もきゅうきゅうの生活なのに旦那は米を持って出て売り人々にお酒と肉をおごったりしました。もっと生活は貧しくなりある時から旦那は自分の過ちは考えなくて全ての事が私のせいの人々を恨みました。そのような生活をするうちに重荷に小付けで旦那が大きい傷ついて太もも骨が骨折され立てられなくて救急車で病院に運ばれました。その話を聞き早く病院に走って行きました。基礎生活費を国からもらっている人でも手術をする時には自分が手術を負担することだと言われました。仕方なく、家の主人に事情を話して保証金さえもらって手術を受けました。幸いにして手術を受けましたが、その以後から悪化されました。両

足の股関節の手術まで受けた人がお酒をやめるどころか相変わらず人々と交わって自分の体を壊したからです。そして医者から人工の骨ではもうこれ以上、体を支えることができなくて回復もできないと言われました。もう心の準備をしないとやるほど旦那の状態がひどくなりました。教会で伝道士と区域長が毎日のように訪問して慰め祈ってくださいました。私も熱心に教会に行き、熱心に祈りました。拝を捧げ切に神様に祈りました。牧師も重病患者の面会時間に合せて来て旦那と私のため祈ってくださいました。教役者と区域長の愛と祈りがなかったらその時私がどの様にその状況を乗り越えたか分かりません。とても感謝しました。旦那は最後のあがきのように私を精神的に肉親的にも大変にさせました。牧師も見ながら非常に残念がってました。状況的に礼拝を捧げない時には私のため当会長の牧師の説教のテープをくださいました。心が剛腹になった重病患者室にいてよく私を捜して教会に通えない旦那が寝ると教会に行くと礼拝を捧げて祈りながら御言葉と聖霊の慰めで希望を持ちました。上手に歌えないが熱心に賛美を歌うと傷ある心が癒され神様に泣きながら祈ると心が平安になり、生活に勇気が出て大胆になりました。神様は真実に神様を仰ぐ私の全ての罪を赦し子供をしてください、今までの悲しみから人生に光を与え新しい力と希望をくださいました。主を信じて救ったことを知って嬉しく感謝することによってどんな 富貴栄華も変えられない恵みを深く悟るようになってくださいました。忙しい中でも教会で教役者達がよく病室に見舞いで祈ってください、神様は恵みをくださって状態が良くなり8ヶ月ぶりに退院しました。医師から心の準備をしないとされたときの絶望的な状況を考えると神様に感謝を捧げました。死線を越えましたが今も動けない旦那だから病院と周りの人々からには旦那を療養所へ入院させようとしてました。

費用も費用ですが私が直接に介護するため旦那を退院させました。

私が今はイエス様を信じる人になって旦那に対する憎みと恨みはなくなりその代り、イエス様の愛と哀れみで旦那を介護しました。私の信仰も神様だけを畏れ、委ねて愛する信仰で成長しました。旦那にも熱心に福音も伝えました。今は以前の生活を忘れて神様の民になって新しい命を得、一日を生きても主の平安を享受しながら天国で永遠な祝福を享受するように旦那を説得しました。旦那の介護をしながら時間あるときに聖書を読ませて賛美歌を歌うと徐々に旦那は優しくなり心が開き始めました。その心が優しくなって教会から誰か来ると以前と違って嬉しく接し良い話をする旦那に変えました。するとたとえ生活は相変わらず大変でも私の心は幸せました。牧師、伝道士、区域の聖徒の祈りと愛の中でついに旦那が神様を自分の救い主として受け入れました。水洗礼を受け以後7年間床について生活しながらひとりで熱心に聖書を読み最後の時間を主と共に天国を希望して過ごしました。息子と娘にも最後の時間、愛と尊敬を受けるよいお父さんでした。神様に呼ばれる日、牧師と伝道士は礼拝を導き祈ってくださいる時、目と唇に笑みをうかべながら天国に召されました。

神様が与えてくださった限りない恵みと愛に感謝します。私は今、一日が主の中で真の幸せです。私が足りなくて息子と娘を他の子供のように養育できない状況でただ、神様に祈りましたが、息子と娘は奨学金をもらえながら勉強して大学を卒業して、真実な家庭を作るまで導いてくださり言葉では表現できない恵みを与えてくださいました。息子と娘がそして孫がいつどこでも真実な生活で神様に栄光を捧げ世の光と塩になる人生を生きるように祈ります。私も主と共に生きながら今よりもっと伝道して主に忠誠して生きる事を願います。ハレルヤ！



【信仰コラム】

どんな事にも感謝することを決断しなさい

“どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリストイエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。”（1テサ 5:18）

人間の欲望には限りがない為、この世を生きていく中で万事に満足している人はいません。しかし、満足できる状態ではないからといって感謝できないわけありません。逆説的ですが、満足できない部分があればこそそれを乗り越えて変化させて改善するために試みができるので感謝することです。信仰が深い人は感謝の理由をつかんだり感謝を感じる能力が優れています。感謝を感じる感受性を回復して常に正常状態を維持するために心に掛けて実践することが二つあります。

第一、自分が持っているものとそれを享受することを当然のことと思う癖を直すべきです。私たちが持っているものや享受することの中で私の努力だけで得られたと言えるものは一つもありません。人は誰でもこの世に素手で来て素手で去るという言葉があります。コリント教会は聖なる恩賜にあふれる教会でしたが、教会の聖徒たちの弊害が使徒パウロの目に触れました。彼らの驕慢な態度でした。パウロはコリント教会に送った手紙で“あなたをほかの者たちよりも、優れた者としたのは、だれです。いったいあな

たの持っているもので、いただかなかったものがあるでしょうか。もしいただいたのなら、なぜいただかなかったような顔をして高ぶるのですか。”と質問しました。

コリント教会たちは彼らが福音を聞き、悔い改めて信者になり、聖霊の恩賜を頂いたことがまったく神様の恵みでできたことを忘れていました。驕慢になって彼らが所有し、享受することを当たり前のことと思ひ込みました。もし誰でも救いを得たことをこのように考えたら彼は神様の国から排斥されてしまうでしょう。救いに関しては自分の努力と功績は何の取り得もないということを知ると救われた事実のみでいつも感謝する気持ちで生けるようになります。

第二、自分の持っているものと享受することを等閑にする癖を直すべきです。

わずか1歳の時、高熱で聴力と視力を同時に失いましたが、後日ハーバード大学を正式に卒業し、障害者たちに機会と希望を与える仕事に一生をささげたヘレン・ケラーは“3日だけでも見れば”という本でこのように記録しています。

“私がこの世を生きる間に唯一の望みがあったら、それは死ぬ前に3日間でもこの目で見ることです。もし私が目を開いて見れば私は私の目を開く瞬間、今まで私に教えて、教育してくれた私の先生、アン・サリバンを、指先で触って知った彼女の仁慈に富んだ顔、そして彼女の美しい体などを何時間でも眺めて彼女の姿を心の深く秘めておきます。次は私の友

たちを訪ねて、その次は野原へ山へ散歩に行ってみます。風になびく美しい木の葉っぱ、野原に咲いている美しい花々と草、そして夕方になると夕日に映える美しい夕焼けを見たいです。翌日の朝っぱらには夜が白々明けてくる壮大な場面、朝にはメトロポリタンの博物館、午後には美術館、そして夕方には宝石の如き夜空の星々をみながら又の一日を過ごします。最後の日は朝早く街路沿いに行くと出勤する人々の顔振り、朝にはオペラハウス、午後には映画館に行くと映画をみます。ところが、いつの間にか夕方になると私はビルの森がある町の真っ只中に出てきてネオンサインが輝く町並み、ショーウィンドーに飾ってある美しい商品を見てから家に戻ってきて私が目を閉じる最後の瞬間に私は3日間だけでも見られるようにして下された神様に感謝しますとお祈りを申し上げて永遠なところに帰っていきます。”

ヘレン・ケラーが持った望みは健康な目を持っている人たちには思い込んでもできる簡単な事でした。さらにキリストイエスにおける人たちはこの世がくれることも、奪うこともできない貴重で、尊いものを豊かに頂きました。何時も、何事にも感謝しながら生きることは神様が聖徒に望んでおられることです。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム『緑の牧場、清い川』本の語り中」

聖徒らの財宝



恵みと真理教会 チョヨンモク 牧師

非常に価値あって貴重なものを示して ‘財宝’ と言います。聖書には ‘財宝’ と翻訳された用語の使われた句節たちが多くの所にあります。その中で聖徒たちを指称する名前と聖徒たちが所有するものなどに関してよく見ます。

第一、聖徒たちは貴重な民です。

申命記 26 章 18 節、19 節に記録されるのを “そして、主は先に約束されたように、きょう、あなたを自分の宝の民とされること、また、あなたがそのすべての命令を守るべきことを明言された。主は誓と良き名と栄えとをあなたに与えて、主の造られたすべての国民にまさるものとされるであろう。あなたは主が言われたように、あなたの神、主の聖なる民となるであろう。” しました。この言葉は神様の選ばれた者等が神様の言葉に従順すれば神様が自分の貴重な民と認めてすべての民族たちの上にすぐれるようになさって褒め言葉と名誉と光栄を得るようになさるという言葉です。墮落した人生たちは皆偶像崇拜者になりました。偶像崇拜者である先祖から伝えて下ったことは神様を逆う行為しかありません。こんな罪悪があがないを受ける道はイエスキリストのあがないの死の外には他に道がないです。全然罪がない人だけがあがないすることができる資格者だからです。イエスキリストがあがないの供え物になって十字架に釘付けられて血を流して死なれたのです。

ローマ人への手紙 3 章 25 節、26 節に記録されるのを “神はこのキリストを立てて、その血による、信仰をもって受くべきあがないの供え物とされた。それは神の義を示すためであった。すなわち、今までに犯された罪を、神は忍耐をもって見のがしておられたが、それは、今の時に、神の義を示すためであった。こうして、神みずからが義となり、さらに、イエスを信じる者を義とされるのである。” 言いました。キリストが流した血イエスを信じるすべての人が罪の赦すことを得るようにして義のあると言うことを得るようになさる。ペテロの第一の手紙、1 章 18 節、19 節に記録されるのを “あなたがたのよく知っているとおり、あなたがたが先祖伝来の空疎な生活からあがない出されたのは、銀や金のような朽ちる物によったのではなく、きずも、しみもない小羊のようなキリストの尊い血によったのである。” 言いました。キリストが流した血 “貴重な血” です。その血の価値と能力と貴重さは世界中のその何でも比べることができません。イエスキリストを信じて迎接すればキリストが罪人たちのために流した血によってすべての罪がゆるされて聖霊で生まれかわるようになります。神様の子ふたび生まれるようになります。コリント人への第一の手紙、6 章 20 節に記録されるのを “あなたがたは、代価を払って買いとられたのだ。それだから、自分のからだをもって、神の栄光をあらわしなさい。” しました。値段が支払いされたということはおびただしい犠牲を支払ったことを意味します。

その代価と言うのはキリストが受けた苦難と流した貴重な血を言います。イエスを信じる人はキリストが私たちの罪をあがないしようと流した貴重な血で 買いとられたので神様が貴重な民と認めます。

第二、聖徒たちは貴重な知識を持ちました。

イエスキリストがおっしゃるのを “そして、ちょうどモーセが荒野でへびを上げたように、人の子もまた上げられなければならない。それは彼を信じる者が、すべて永遠の命を得るためである。神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。” (ヨハネによる福音書 3:14~16) しました。永生を得る知識は人が研究して努力して得ることができるのではないです。神様が予言者たちを通じて啓示なさったイエスキリストがおいでになって明らかに現わしました。イエスキリストがあがない使役を果したし聖霊様の降臨を通じて世界中に福音が伝えています。このような福音外には霊魂がよくできる知識を得ることができません。永生の消息、救いの消息よりもっと貴重な知識はないです。

このような貴重な知識を聞いて悟って信じるようになることは神様の選ばれることになる恵みです。コリント人への第二の手紙 4 章 3 節、4 節にこんな記録されました。 “もしわたしたちの福音がおおわれているなら、滅びる者どもにとっておおわれているのである。彼らの場合、この世の神が不信の者たちの思いをくらませて、神のかたちであるキリストの栄光の福音の輝きを、見えなくしているのである。”

“この世の中の神” と呼ばれるサタンは人々に福音の光彩がひすいだできないようにしようとあらゆる方法で妨げています。無神論、迷信、偶像崇拜、宗教多元主義、異端たちを通じてイエスキリストに対して分からないようにします。歪曲された知識を持つようにします。しかし神様の選ばれた人々は福音を聞くようになって悟るようになりながら信じるようになります。神様は先に信じた人々に福音を伝える使命を任せました。これは褒め言葉と賞を与えるためなのです。福音を伝える人は極めて貴重な知識を人々に伝える事をするのです。福音を信じる人は極めて貴重な知識を持った人々です。

第三、聖徒たちは貴重な信仰を持ちました。

聖書には “信仰がなくては、神に喜ばれることはできない。なぜなら、神に来る者は、神のいますことと、ご自身を求め者に報いて下さることとを、必ず信じるはずだからである。” (ヘブル人への手紙、11:6) しました。キリストが浜辺でやからにおっしゃっていらっしやる時会長が駆けて来てイエスキリストに懇請するのを “私の娘が死んで行っているからいらっしやるのでその子供に手を上げてください。それではその子供が生き返るでしょう。” しました。キリストが会堂長の要請を受諾なさって一緒に会堂長の家に向けて歩き始めました。途中で 12 年間も血涙病で苦しんでやっと生命を支える女性一人がイエス様の後に近付いてイエス様の服に手を出しました。その瞬間その女性は血涙病に治りました。イエスキリストが止めて立ちました。そして “誰が私の服に手を出したか?” と問いました。病気の治れた女性は震えながら出て来てイエス様の前にいました。

そして血涙病が直ちに治ったことをすべての人の前で話しました。するとイエスキリストがその女人におっしゃるのを “娘よ、あなたの信仰がお前を救われたから平安に行きなさい。” しました。その時会長の家で一人が来て会長にその娘がただいま死んだと伝えました。イエスキリストが会長におっしゃるのを “恐ろしくて以外に信じてばかりしなさいそんなにすれば娘が癒やされるでしょう。” しました。その言葉を聞いて元気を出した会長は信仰を持ってイエスを家にお供をしました。キリストが死んだ子供の手を握って “少女よ、私があなたに言うのに起きなさい。” としたらその少女がまた生き返りました。イエスキリストがおっしゃった言葉の核心単語は信仰でした。 “娘よ、お前の信仰がお前を救いしたから平安に行きなさい。” “恐ろしくて以外に信じてばかりしなさいそんなにすれば娘が癒やされるでしょう。”

ペテロの第二の手紙、1 章 1 節に記録されるのを “イエス・キリストの僕また使徒であるシメオン・ペテロから、わたしたちの神と救主イエス・キリストとの義によって、わたしたちと同じ尊い信仰を授かった人々へ。” しました。人が持つ信仰の中一番貴重な信仰は聖書に啓示された神様に向けた信仰です。父の神様とイエスキリストと聖霊様に対する信仰です。

第四、聖徒たちは貴重な約束を持ちました。

コリント人への第二の手紙、3 章 14 節に ‘旧約’ という用語が使われました。 ‘昔の契約、昔の口約束’ という意味です。イエスが世の中へいらっしやるこれ前に予言者たちが記録した聖書を ‘旧約聖書’ と呼んでイエス様以後に使徒たちが記録した聖書を ‘新約’ 聖書と呼びます。そこに記録された言葉は神様が与えられた契約あるいは口約束です。だから聖書を信じる人は貴重で極めて大きい約束たちを受けた人です。約束たちの中に圧巻は罪の赦しこととイエス様の再臨と聖徒の復活と新しいエルサレムで永遠に神様とともに暮すようになるという約束です。ペテロの第二の手紙 1 章 4 節に記録されるのを “また、それらのものによって、尊く、大いなる約束が、わたしたちに与えられている。それは、あなたがたが、世にある欲のために滅びることを免れ、神の性質にあずかる者となるためである。” しました。聖書に記録された約束たちは神様が与えられている約束たちです。神様は全能です。永遠です。善良です。真実です。だからこの約束を信じて暮す人は決して恥にあわないです。神様がこのように貴重で極めて大きい約束を聖徒たちにくださったしまたこれを思い出すようになさった理由があります。1) この世の中に属したことに対する貪欲を持たないようにするのです。2) 神様の性分に参加する者になるのです。神様の性分の中の私たちが参加することができることは義と愛と真実と善良さと忍耐みたいなのです。

イエスキリストを信じる人よりもっと幸せな人はいないです。イエスキリストを信じる人は神様が認める貴重な民です。貴重な知識を持ちました。貴重な信仰を持ちました。貴重で極めて大きい約束を持ちました。皆さん皆がこのよう事実によって楽しがって幸福感を持って生きて行くように願います。